

風水害ハザードマップについて

外水氾濫と内水氾濫

外水氾濫

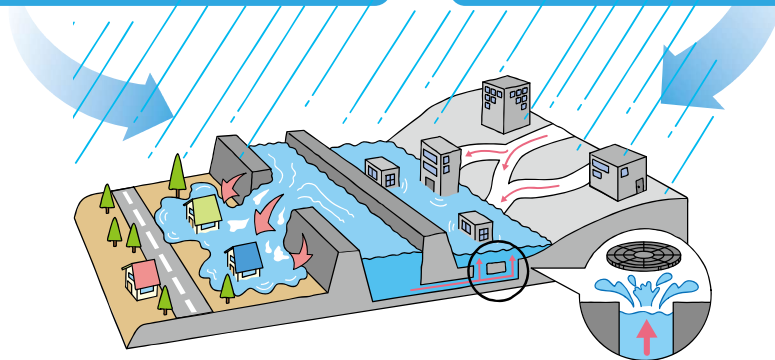
大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える、あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水です。氾濫が起きると一気に水かさが増すため、迅速な避難行動が必要です。

洪水ハザードマップはP7～13へ

内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれず溜まって起きる浸水です。的確なタイミングで警報や避難指示を出すのが難しいため、注意が必要です。

内水ハザードマップはP15～16へ



※河川の氾濫と内水氾濫が同時に起きることもありえます。

豊山町に影響のある河川の洪水浸水想定区域図

河川の氾濫により住宅などが水につかる浸水が想定される区域を記した図を、洪水浸水想定区域図といいます。洪水浸水想定区域図に避難場所等を図示したものをハザードマップといいます。水防法第14条に基づき指定された、豊山町に影響のある以下の4河川のハザードマップをP7～P13に掲載しています。



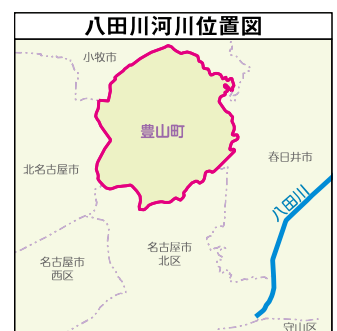
庄内川 P7・8へ



新川 P9・10へ



大山川 P11・12へ



八田川 P13へ

高潮について

高潮は台風や猛烈に発達した低気圧が原因で発生します。気圧低下による吸い上げ効果や同じ風向きで強風が吹き続けることによる吹き寄せ効果で、海面が全体的に上昇する現象です。高潮ハザードマップをP14に掲載しています。



全ての災害状況を想定することは現代科学では困難であり、ハザードマップで浸水していないから絶対に安全とは思わない事が大切です。